



お祭りってどんなことするのか?

8月上旬から、夏祭りがあることを話し、おまつりにいったことがあるか、どんなことをしたか、どんなことを知っているかなどを子ども達から聞きながら、一緒に遊びました!

おみせにたべもの、
ならべたらいいんじゃない?



いらっしゃいませ~!

お店屋さん

たこやき、ドーナッツ、ピザ、ポテト、アイスクリームなど、「お祭りにあったらいいんじゃない?」と子どもたちが会話をしながら、どんどん品物が並んでいきました。自然とお店屋さんをする子とお客さんがかわいいやりとりを始めます。

これくださーい!



ゲームコーナー

「お祭りでボーリングや輪投げをしたよ!」と話してくれた子がいたので、身近な材料を使ってゲームコーナーを子どもたちと作りました。順番にやろうと話して決めて、投げた輪を集めて渡す係をしてくれる子が出てきたり…成長を感じますね!



子どもたちと会話をする中で、コロナ禍で催し物が減少し子どもたちの中で“お祭り”のイメージが少ない印象を受けました。

そこで、紙芝居や絵本、日本の行事の本などを読んだり、お祭りの思い出をみんなで共有したりして、夏祭りへのわくわくした気持ちをゆっくり膨らませていきました。

散歩でおみこしも

みたよ!



楽しみにしていた夏祭り!!

手作りのお財布を持ってゴー!



輪踊り♪

ゲームコーナー



夏祭りの後の、すみれ組…

劇団「ほたる」による人形劇「ももたろう」



人形劇を見て大興奮だった子どもたち。次の日から、劇団「すみれ」の誕生です!人形を動かして、かわいいセリフを言う姿が見られます。お客さんも集まる中での熱演です!



園長先生の“サイエンスショー”

園長先生が、段ボールで作った“空気砲”で煙を飛ばす「サイエンスショー」をやってみせてくれました。煙の不思議な様子にきづけてました。保育室にあった段ボールに穴をあげると、子どもたちは、園長先生の動きを思い出しながらポン!ポン!と挟むように叩いていました。煙は出ませんが、風が顔にかかるの大笑いしていましたよ。



夏祭りの思い出を共有しながら、再現して遊んだり、憧れの気持ちをもってごっこ遊びをしたりしています。一緒にの思い出がある分会話も弾みます。楽しい時間の余韻も大切にしていきたいと思います。